

ニットキャップシアター

第 40 回公演

カレーと村民



ご来場ありがとうございます。脚本と演出を担当したごまのはえです。

「カレーと村民」は明治時代の旧庄屋屋敷の土間を舞台にした作品です。

江戸の昔、村に課せられた年貢はこの土間に集められたそうです。土間は庄屋家族のプライベートな場所でありつつ、村の公共空間でもありました。

土間に来た村人に応接する場所は「落ち間」と呼ばれます。客席から見て60センチほど高くなっている所が「落ち間」です。

そこを右に進めば家族の居間や寝室、左に進めば「勘定の間」という一家の主人の執務室があると思ってください。「勘定の間」はお金や重要書類が置かれていたので、一家の主人しか入れなかったそうです。

なにせ100年以上も前の話です。「土間」「落ち間」「勘定の間」の他にも、今では使われていない言葉や価値観がいっぱい出てきます。現代との違いを楽しんでもらえると幸いです。

最後までごゆっくりご覧ください。

ごまのはえ



浜 太郎（はま たらう） cast 福山俊朗

吹田高浜に古くから続く浜家の当代。
妻お茂にも母まんにも頭があがらないが、
気さくで優しい性格。



浜 次郎（はま じろう） cast 門脇俊輔

浜家の次男。幼い頃から神童と呼ばれ欧州留学もはたす。
華々しい学歴のわりになかなか実社会に出ようとしない。
生まれてからずっとモテ期。



まん cast 日詰千栄

太郎、次郎の実母。
先代を亡くして以来太郎が成人するまで浜家を守り抜いてきた苦勞人。
かわりゆく時代をじっと見つめてきた。



お茂（おしげ） cast 仲谷萌

太郎の妻。春に赤ん坊を生んだばかり。
変人ばかりの浜家によく慣れてきた。
夫婦仲は良好だがたまに怒る時もある。



オマサ cast 越賀はなこ

太郎と次郎の乳母もつとめた奉公人。
結婚し孫もできたが、日露戦争に孫らが駆り出され戦没する不幸にあう。
家庭の事情により再び浜家に奉公することになった。



ネ cast 高原綾子

山田村から奉公にきた娘。
浜家では見るもの聞くものが珍しい。
特に欧州帰りの次郎には興味しんしん。



お留（おとめ） cast 山下多恵子

浜家が営む輸送船で働く。
夫に先立たれ、女手一つで息子を育てたが、
その子も日露戦争で戦死してしまった。



大助（だいすけ） cast 西村貴治

吹田にあるビール会社の関連会社の社長。
思慮深い性格だが、
頭と口の回転は妻にかなわない。



おはな cast 亀井妙子

大助の妻。口から先に生まれてきた女。夫と一緒に会社を営む。
息子は戦争に行ったまま行方知れずになっていたが、
このほど生存が確認され、帰ってくることになった。



潮（うしお） cast 澤村喜一郎

海軍にいたが、戦場で耳を傷め村に帰ってきた。
以来無口な性格になり、
妹のおつな以外とは交際しなくなる。



おつな cast 益田萌

潮の妹。兄の世話に忙しい。
本作の登場人物中もっともクセがない性格。
よく言えば尽くすタイプ。悪く言えば周りに流されるタイプ。



アキ cast 山下あかり

次郎の恋人。
次郎に憧れ勉強に励むが、
やがて次郎に疑問を持つようになる。



薬屋（くすりや） cast 池川タカキヨ

富山の薬売り。
神戸で食べたカレーにはまり、
独自のルートをつかってスパイスを入手する。

ニットキャップシアター
第40回公演
『カレーと村民』

作・演出

ごまのはえ

出演

門脇俊輔

高原綾子

澤村喜一郎

仲谷萌

池川タカキヨ

日詰千栄 はひふのか

福山俊朗 はひふのか/syubiro theater

亀井妙子 兵庫県立ピッコロ劇団

西村貴治

越賀はなこ

山下多恵子 京都演劇サロン

山下あかり

益田萌

スタッフ

舞台監督＝河村都（華裏）／舞台美術＝西田聖

照明＝葛西健一／音響＝三橋琢／音楽＝真都山みどり

衣裳＝清川敦子（atm）、木村恵子

ヘアメイク＝松村妙子、山田美香

小道具＝仲谷萌／演出助手＝池川タカキヨ、高田晴菜

宣伝美術＝山口良太（slowcamp）／絵＝竹内まりの

スチール写真・記録写真＝脇田友

宣伝映像・記録映像＝飯阪宗麻（NOLCA SOLCA Film）

制作＝門脇俊輔、高原綾子、澤村喜一郎、渡邊裕史（ソノノチ）

協力＝吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」

公益財団法人吹田市文化振興事業団、はひふのか

syubiro theater、兵庫県立ピッコロ劇団、京都演劇サロン

助成＝  文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

 KYOTO ART CENTER 京都芸術センター制作支援事業

企画・製作・主催＝一般社団法人毛帽子事務所
ニットキャップシアター



スペシャルサンクス

秋津ねを、石田みつは、岩木すず、海老沢美幸、國古聡子

小寺春翔、佐藤卓哉、竹腰かなこ、寺井ゆうこ、寺田航

藤原美保、松本謙一郎、横田由真

京都公演 THEATRE E9 KYOTO 2021年3月9日(火)-11日(木)

提携＝THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）

東京公演 こまばアゴラ劇場 2021年5月6日(木)-10日(月) ※期間中3～4日間上演予定

提携＝(有) アゴラ企画・こまばアゴラ劇場

オンライン配信 配信期間 2021年3月12日(金)-31日(水) 18:00まで

料金 [配信一般チケット] 1,000円 / [配信応援チケット] 1,500円 ※特典映像付き

チケット取扱 ニットキャップシアター WEB SHOP (3月11日～3月31日まで)

<https://knitcapshop.thebase.in/>